

種市会長の留任決める

道設備設計事務所協会

北海道設備設計事務所

協会は26日、ポールスタ

ー札幌で2017年度定

時社員総会を開いた。17

年度事業計画を報告し、

建築設備技術の研究・調

査・普及に関する取り組

みの実施などを了承し

た。任期満了に伴う役員

改選では種市由夫会長の

留任を決めた。

種市会長は、昨年の大

雨災害により札幌市と結

んでいる災害協定を見直

すとの要請があったこと

を挙げ「情報交換を密に

して対応していきたい」

と抱負を述べた。

事業計画には、建築設

備賠償責任保険制度の促

進や建築設備技術の研究

・調査・普及に努め、研

修会や講習会、見学会の

開催、省エネ法に関する

取り組みを実施すること

などを盛り込んだ。

また、16年度末で正会

員34社、賛助会員129

社、協賛会員29社の計1

92社になったことを報

告した。

役員改選では、種市会

長をはじめ、高木晃、木村

清美両副会長を留任。山

田修氏(共伸設備設計事

務所)を副会長に新任した。



抱負を述べる種市会長